茨城県
自衛隊家族会
会報
第６号
2026年10月１日
発行者
正代　初代

令和八年度前期

会長挨拶

茨城県自衛隊家族会
会長　正代　初代



令和八年度後期となりました。寒暖の差が大きな時となり、間もなく秋本番となります。会員の皆様には心豊かになる時期を満喫しつつご健勝でありますことを祈念いたします。

さて、会報第六号では令和八年度前期の県自衛隊家族会の活動実績を主体に掲載いたしました。この間の事業活動にご参加・ご協力いただいた会員の皆さまに心から感謝申し上げますとともに令和八年度後期におきましてもご支援・ご協力をお願い申し上げます。特に、自衛隊では益々厳しい募集環境となっております。

後期では前期と同様に「広報・募集活動への協力」を重点に事業活動を推進して参ります。この際、電子メールやホームページにより茨城地本のイベント情報をご連絡いたしますので、会員皆様のご協力を頂ければ幸いです。

（茨城県自衛隊家族会のホームページは下図のＱＲコードから訪問できます。）

○三月二十日（月）茨城地本土浦地域事務所のリニューアルオープン

茨城地本土浦地域事務所がリニューアルオープンし、栗秋自衛隊茨城地方協力本部長ほか主要な協力団体の代表者（正代県家族会長を含む。）が参加され、厳粛かつ愉快なセレモニーとなりました。



○四月一日（水）武校生徒課程の昇任行事

後方支援学校武器科部の生徒課程の皆さん四十七名が一斉に三等陸曹に昇任する昇任行事が行われ、県自衛隊家族会から正代県会長以下十名（県大森監事、県関根会計、県高橋監事、かすみがうら市木間塚会長、龍ヶ崎市酒井副会長、石岡市中嶋会員、阿見町武井会員、水戸市鈴木会員、県正代事務局長）が招待され参加いたしました。



昇任行事は午前九時三十分から、生徒課程同期四十七名による駆足行進（約三キロメートル）から始まり、私たちは彼らをゴールで拍手をもって出迎え、次に全員による十式戦車（約四十四トン）の約三十メールに及ぶ綱引き牽引を実施、引き続き整備工場に移動し、四十七名それぞれが昇任に当たり佐藤武器科部長の前で決意表明を実施されました。昇任者にとっては高等工科学校入校以来約四年間夢に見た瞬間であり感激のひと時でした。この昇任行事には昇任者を上回る数のご家族が訪れておられ、成長したご子息の姿を目の前に喜びはひとしおであったと思います。今回このような厳正かつ爽やかな若者の昇任行事にご招待いただいた佐藤武器科部長はじめ後方支援学校武器科部の皆さんに感謝申し上げます。



更に、持参いたしました茨城県自衛隊家族会の案内パンフレットをご家族席に配布していただきありがとうございました。

○四月四日（土）古河駐屯地観桜会

古河駐屯地にて観桜会が実施され、地元出身の国会議員、首長さんの他県会議員、市会議員の方々、また、施設団のＯＢ会、協力会の方々が参加されるなか、県自衛隊家族会からは正代県会長、地元の大足筑西市会長、雨貝筑西市理事、須藤県理事ご夫妻、正代県事務局長が招待され参加しました。観桜会は、弱い霧雨のなか厚生センターの広場で強行開催され、弥頭駐屯地司





令の挨拶、国会議員の挨拶、駐屯地ＯＢ会会長の挨拶と続き、ご来賓紹介と続きました。来賓紹介では、弥頭駐屯地司令のお計らいにより正代県会長もご紹介にあずかり、祝意とご招待への感謝の言葉を述べられました。

○四月四日（土）後方支援学校の新編行事

朝霞駐屯地において後方支援学校の新編行事が行われ、県自



衛隊家族会から小針日立市家族会長が参加されました。後方支援学校は、旧武器学校・需品学校・輸送学校が統合され新しく編成されたものです。当日は十一時十分から後方支援学校の編成完結式が行われ、学校長に対し校旗が授与されました。十二時三十分から祝賀会食に移行し、後方支援学校の新編をお祝いいたしました。

○四月五日（日）土浦駐屯地春の一般開放／県家族会員が地本ブースを支援

土浦駐屯地にて春の一般公開が実施され、多くの観桜を楽しむ人々が訪れました。ほとんどの皆さんは自家用車で来場のため、駐屯地グランドが車両の駐車場として開放され、一時は満



車の状態となりました。配布パンフレットには、この日のイベントは「①広報地区の開放と②茨城地方協力本部による募集・広報ブース」と紹介されており、たくさんの来訪者がブースに集まりました。県自衛隊家族会からは七名の会員（木間塚かすみがうら市会長、酒井龍ヶ崎市副会長、関根県会計、中嶋石岡市会員ご夫妻、豊島阿見町会員、川畑阿見町理事）が応援に駆け付け、正代県会長が激励に訪れた頃には、ブースは来場客と龍ヶ崎地域事務所の隊員の皆さんを含め大盛況となりました。

○令和四月八日（水）筑西市長を表敬訪問

筑西市市長　設楽　詠美子（したら　えみこ）　様を正代初代県自衛隊家族会会長が表敬訪問いたしました。　目的は、県自



衛隊家族会の組織、活動目的、沿革及び活動状況をご説明し、「自衛隊の最も身近な存在であることを誇りに思い活動している。」家族会をご理解いただき、筑西市自衛隊家族会（大足会長）をこれまで通りご支援いただける環境を維持・継続することでした。

○四月十一日（土）東北補給処観桜会（園林処長を訪問）

東北補給処（仙台駐屯地）にて観桜会が実施されました。県自衛隊家族会からは、現在の処長（先月まで勝田駐屯地司令兼施設学校長）である園林将補から正代県会長と県事務局長が招待され、参加いたしました。正代県会長は東北補給処に到着すると早速園林処長を訪問し、ご栄転を祝うとともにご招待へのお礼の挨拶を致しました。



十一時三十分から東北補給処の営庭にて観桜会食が実施されましたが、正代県会長も来賓として紹介されました。園林処長のお心遣いに感謝いたします。

○四月十二日（日）一師団創立六十四周年（練馬駐七十五周年）記念行事

第一師団創立六十四周年・練馬駐屯地創設七十五周年記念行事が開催され、県自衛隊家族会からは正代県会長が招待され参加いたしました。午前十時四十分から記念式典、午後一時から記念会食が行われました。　記念式典では第一師団長富崎隆志陸将の式辞の後、小池都知事等の来賓祝辞があり、その後観閲行進、訓練展示、音楽演奏、装備品展示と続きました。



○四月十七日（金）武器科・施設科生徒課程の対抗持続走大会を激励

十四時～十六時半の間、武器科・施設科の生徒課程学生の対抗持続走大会が土浦駐屯地にて実施され、県自衛隊家族会から十名が参加し、応援・激励して参りました。応援者の中には、全国各地から来訪された学生のご家族約二十名、武器学校ＯＢ会四名の方々もおられ、賑やかな応援・激励となりました。



対抗持続走は曇り空のやや風が強い中、十四時～二十分間に個人走、十四時半～十五時半に八個チーム、五区間の駅伝走で行われました。本年は個人走、駅伝走ともに施設科の生徒課程学生が優勝し、総合優勝いたしました。



○四月二十六日（日）地本龍ヶ崎事務所の広報活動を支援

イオンタウン守谷にて地本龍ヶ崎地域事務所が広報活動を実施され、県家族会県南地区から五名の会員（酒井龍ヶ崎市副会長、関根阿見町理事、高橋阿見町理事等）が支援いたしました。イオンタウン守谷は晴天に恵まれ、駐車場は満杯、訪れる人々は所狭しと警察・消防・建設業・バス業者等多種の乗り物が展示された中、小児を中心にそれぞれの仕事服を試着（コスプレ）し、試乗・記念写真を楽しんでいました。私達が支援した龍ヶ崎地域事務所のブースにも多くのご家族が来場され、親子で自衛隊の迷彩服を着用し、偵察用バイクや高機動車に試乗し、支援員が記念写真の撮影を手伝いました。





○五月二十三日（土）関東処創立二十八周年（霞ヶ浦駐十三周年）記念行事

霞ヶ浦駐屯地にて関東補給処創立二十八周年（霞ヶ浦駐屯地開設七十三周年）記念行事が行われました。県家族会から正代県会長、木間塚かすみがうら市会長、星田つくば市会長、船橋龍ヶ崎市会長、酒井龍ヶ崎市副会長、大森つくば市監事、関根阿見町理事の七名の皆さんが参加しました。　今回は、本年三月に東京都の十条駐屯地に補給本部が新編され、関東補給処がその隷下の補給処となり初めての記念行事となりました。





一方募集コーナー（ミニ制服等試着）として茨城地本土浦地域事務所がブースを出され、県家族会から風間かすみがうら市家族会員、中嶋石岡市家族会員ご夫妻が支援いたしました。

○五月三十一日（日）古河駐屯地創設七十二周年・第一施設団創隊六十五周年記念行事

古河駐屯地において古河駐屯地創設七十二周年・第一施設団創隊六十五周年の記念行事が行われました。県家族会からは、正代県会長・大足筑西市家族会長・木間塚かすみがうら市家族会長・吉成常陸太田市家族会長ご夫妻・小針日立市家族会長・石井城里町家族会長・小野瀬那珂市家族会長ご夫妻・須藤県副会長の十名の皆さんが参加いたしました。　記念行事は十時頃から感謝状受賞者紹介～観閲式～アトラクション（市町旗紹介、音楽演奏）～観閲行進（観閲飛行）～訓練展示の順に実施され、正午から記念会食となりました。





○六月五日（金）茨城県自衛隊家族会総会等を開催

ホテルレイクビュー水戸において茨城県自衛隊家族会「総会・防衛講話（一般公開）・懇親会」を開催いたしました。参加者数は総会四十七名（他に

オブザーバーとして自衛隊高級幹部の皆さん十名）、防衛講話六十九名、懇親会四十四名（自衛隊高級幹部・県隊友会長を含む。）でした。







〇六月十二日（金）茨城県自衛隊家族支援会同

陸上自衛隊勝田駐屯地にて、茨城県自衛隊家族支援会同が行われました。参加者は、勝田駐屯地、古河駐屯地、霞ヶ浦駐屯地、土浦駐屯地の家族支援担





当部署の皆さん、部外団体として県隊友会会長・事務局長及び県家族会会長・事務局長が参加いたしました。

〇六月十三日（土）陸自東方第八十五回定期演奏会

和光市民センター　サンアゼリア大ホールにて陸上自衛隊東部方面音楽隊による第八十五回





定期演奏会に招待され、県家族会長が参加いたしました。当日は大変熱い中、音楽鑑賞を楽しみにかけつけた多くの皆さんで満席となりました。

〇六月十六日 令和八年度（公社）自衛隊家族会 定期総会

令和八年度（公社）自衛隊家族会定期総会に参加いたしまし





た。併せて今回は創立五十周年記念行事が行われました。特に記念行事には、小泉新次郎防衛大臣他、防衛省・内局・統幕・陸海空各幕・感謝状受賞者・関係団体・賛助会員等が参加されました。また、家族会の歌の披露では陸自中央音楽隊のご協力のもと整斉と実施されました。

〇七月一日（水）市街地広報支援（龍ヶ崎地域事務所周辺と下館駅）

茨城地本龍ヶ崎地域事務所周辺にて市街地広報活動を支援いたしました。参加者は龍ヶ崎家族会から酒井会員、阿見町家族会から髙橋会員、林会員が参加され、正代県会長兼阿見町家族



会長が応援参加致しました。

〇七月二日（木）市街地広報支援（守谷駅）

守谷駅にて地本龍ヶ崎地域事務所の市街地広報活動を支援いたしました。参加者は阿見町家族会から関根会員、林会員、正代会員、龍ヶ崎家族会から酒井会員が参加いたしました。



○七月三日（金）市街地広報支援（水戸駅）

水戸駅中央口において広報活動を実施して来ました。水戸募集事務所では、七月三日から七月七日まで実施しました。地本隊員、広報班長以下十数名、協力会社、NTTドコモビジネス株の元空自西空司令官他五名、防衛大学三年生五名、及び石井城里町自衛隊家族会長併せて二十数名が参加しました。





○七月十五日（水）市街地広報（神立駅）

かすみがうら市家族会は神立駅にて市街地広報活動を支援いたしました。参加者は木間塚会長と藤井会員です。



○七月十二日（日）大洗港にて海自訓練支援艦の入港歓迎式に参加



大洗港にて海自訓練支援艦の黒部と天龍の入港を祝し、歓迎式及び乗艦・見学行事が実施されました。歓迎式には多数の自衛隊協力者が招待され、正代県家族会長も来賓紹介の一員として、自衛艦乗組員の皆さんに激励の挨拶を致しました。式後は、艦内の案内を受け、訓練支援艦の性能・運用内容等の説明を受けつつ身をもって艦を体感致しました。艦の乗組員の皆さんは、白一色の制服を着用し、凛々しく爽やかな言動で対応頂き、頼もしい海上自衛隊に接する事が出来ました。今後とも健康に留意しつつご活躍を祈っております。



○七月十三（月）・十七日（金）市街地広報支援（日駅）



つくば市家族会は、ＴＸ研究学園駅、及びＴＸみどりの駅にて市街地広報活動を支援いたしました。参加者は星田会長、渡邉会員、大森会員の三名です。活動中に高齢の男性から声を掛けられ、「自衛隊のお陰で平和がある。感謝しかない。」との嬉しい言葉をかけていただいたそうです。

○七月二十日（月）つくば市家族会が家族支援実動訓練に参加

つくば市家族会が霞ヶ浦駐屯地の家族支援実動訓練に参加しました。つくば市家族会から星田つくば市家族会長、大森会員及び渡邉会員が参加いたしました。今回の家族支援は安否確認を目的に実施され、つくば市在住の支援要望者二世帯三名の隊員ご家族が対象となりました。





○七月二十八日（火）富吉副部長 定年退官に伴う表敬訪問

富吉副部長は、八月一日をもちまして定年退官となられました。着任以来約三年間にわたり、県家族会の活動に温かいご理解とご支援をいただきました。これまでの温かいお力添えに深謝いたしますとともに、富吉副部長の今後のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。



○七月二十八日（火）土浦駐屯地 自衛隊説明・相談会に参加

土浦駐屯地にて、入隊・入校希望の学生の皆様とご家族を対象に自衛隊説明・相談会が開催されました。県家族会より正代県会長、大森つくば市家族会員、県事務局長が参加いたしました。ご家族の立場から自衛隊の実際の様子や魅力・おすすめポイントについての質問にお答えし、自衛隊の広報および募集事業に寄与いたしました。





○七月二十八日（火）ひたちなか市家族会の発足を施設学校長等に報告

正代 県家族会長、矢崎 ひたちなか市家族会長、正代 県事務局長がひたちなか市自衛隊家族会の発足を報告するため、施設学校幹部を表敬訪問いたしました。学校長ら幹部の方々からは家族会の発足を歓迎いただき、「家族会の皆様による温かい視察・激励が隊員の活力や訓練成果向上につながる。ぜひ気軽かつ頻繁に交流してほしい」とのお言葉をいただきました。





○八月六日（水）霞ヶ浦駐屯地 納涼大会参加報告

霞ヶ浦駐屯地にて納涼大会が開催されました。

当日は、関東補給処の主力部隊が熊本地震の被災対応（支援品の補給・配送等）に従事されていることから、一般公開は中止となりました。しかしながら、日頃より支援・協力を行っている関係者を対象に、内容を縮小した形で執り行われました。

県家族会からは、正代県会長をはじめ、木間塚かすみがうら市会長、船橋龍ヶ崎市会長、同酒井副会長、大森つくば市監事、関根阿見町理事が参加いたしました。



○八月二十二日（土）勝田駐屯地夏祭り懇親会および花火鑑賞会に参加

陸上自衛隊勝田駐屯地にて「ひたちなか市祭り花火大会」が催され、同駐屯地の夏祭り懇親会へ県家族会として参加いたしました。

当日は正代県家族会長をはじめ、各市町村の家族会役員・会員・ご家族の皆様が集まり、自衛隊の皆様との親睦を深めました。



○八月三十一日（月）第一施設団長 兼 古河駐屯地司令へ表敬訪問

当会の正代初代 県会長（正代県事務局長随行）および大足 豊 筑西市会長が、陸上自衛隊古河駐屯地を訪問いたしました。

今回の訪問は、新たに第一施設団長 兼ねて古河駐屯地司令にご着任された 奥 和昌 陸将補、ならびに第一施設団副団長の千葉 武志 一等陸佐への表敬訪問として執り行われたものです。

懇談では、茨城県自衛隊家族会の活動目的や日頃の取り組みについてご理解を深めていただくとともに、今後の駐屯地・部隊に対する支援活動をより円滑に推進するための有意義な意見





交換の場となりました。





○九月二(水)三日(木)自衛隊家族会南関東地域協議会

二日間にわたり、東京都の自衛隊東京地方協力本部等において「令和八年度 南関東地域協議会」が開催されました。





本協議会には一都六県の家族会長および事務局長が参加したほか、自衛隊側から各自衛隊地方協力本部長、自衛隊家族会本部から児玉恭幸委員にご出席いただきました。

意見交換会（懇親会）には東部方面総監、第一師団長をはじめ、近隣の高級幹部の皆様にもご出席いただき、親睦を深めました。

○九月十二日（土）第二十五回百里基地音楽祭

小美玉市の小川文化センター「アピオス」にて「第二十五回百里基地音楽祭」が開催されました。



今回は中部航空音楽隊を招聘しての開催となり、会場には約千名の観客が来場。茨城県自衛隊家族会からも正代県会長をはじめ、六十名を超える会員が参加し、演奏を楽しみながら自衛隊の皆さまへ励ましのエールを送りました。



○九月十九日（土）新隊員後期課程「施設」修了式

陸上自衛隊勝田駐屯地において「新隊員後期課程『施設』修了式」が挙行されました。

本修了式は、執行官である施設教導隊長 一等陸佐 北野和彦様の指揮のもと厳正かつ粛々と執り行われ、新隊員二十三名、ご家族十四家族三十七名が参加されました。

茨城県自衛隊家族会からは正代県会長が来賓として招待され、門出を迎える新隊員に向けて祝辞を述べさせていただきました。

また、修了式終了後にはお時間をいただき、ご出席されたご家族の皆様へ茨城県自衛隊家族会の活動内容やご案内について説明を行いました。





○九月二十九日(火)百里基地殉職隊員慰霊行事に参列

百里基地において「令和八年度基地慰霊行事」が執り行われ、

志半ばで職に殉ぜられた尊い御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げてまいりました。

式典には、ご遺族をはじめ小美玉市長、周辺協力団体（基地ＯＢ会・隊友会）代表者、基地内部隊長等が参列されました。なお、県自衛隊家族会としては今回が初の参列となり、正代会長が出席いたしました。





○九月三十日(水)土浦駐屯地観月会

土浦駐屯地後援会主催による「観月会」が開催され、県家族会からは正代県会長をはじめ多くの会員が出席いたしました。

中川後援会長の開会挨拶、佐藤駐屯地司令のお礼の挨拶に続き、武器教導隊太鼓部による躍動感あふれる「エス・エル太鼓」が披露され、賑やかで和気あいあいとした懇親の場となりました。短時間でしたが無事に観月を楽しむことができ、非常に思い出深い行事となりました。







編集者
県事務局長　正代藤倫：
fujinoriihatsuyoshokai@gmail.com

賛助会員（法人）

昭和金属工業株式会社
ホテルレイクビュー水戸
株式会社イーストワン
合資会社薄井電機製作所

賛助会員（個人）敬称略

正代　初代　　正代　藤倫
木間塚　仙子　　小針　靖晃
髙橋　將　　大森　幸代
関根　恵美　　須藤　賢一
須藤　志保　　松瀬　咲
吉沢　真紀子　　酒井　あかね

ロゴ

会旗

茨城県
自衛隊家族会
HP QR コード

自衛官であるときも　(Active)
自衛官でないときも　(Reserve)
自衛官でなくても　(Support)
どこにいても日本を守っている。

茨城県自衛隊家族会のＨＰです。ＱＲを読み込んでみてください。

茨城地本キャラクター　陸にゃっとら